
Monster Carp Fishing in Japan

– Meeting –

Archives “41th – 50th”

MCF Japan
www.mcfjapan.net

目 次

第 50 回オフ会	2015 年 6 月 13 日	荒川.....	1
第 49 回オフ会	2015 年 1 月 24 日	隅田川.....	6
第 48 回オフ会	2014 年 10 月 25 日	荒川.....	10
第 47 回オフ会	2014 年 10 月 3 日～5 日	霞ヶ浦.....	14
第 46 回オフ会	2014 年 5 月 24 日	荒川.....	19
第 45 回オフ会	2014 年 1 月 18 日	隅田川.....	22
第 44 回オフ会	2013 年 11 月 16 日	荒川.....	26
第 43 回オフ会	2013 年 10 月 3 日～6 日	北浦.....	30
第 42 回オフ会	2013 年 5 月 18 日	荒川.....	36
第 41 回オフ会	2013 年 1 月 26 日	隅田川.....	40

第 50 回オフ会 2015 年 6 月 13 日 荒川

参加：ぼらひでさん、ユウ君、こぶちゃん、やすこさん、mi○

2001年に霞ヶ浦において第1回オフ会をぼらひでさんとmi○が開催し、以来毎年水郷と荒川、隅田川において開催。そして今回で第50回となりました。今回の釣り場は荒川の某橋の下。お馴染みのメンバーが集合しました。



7時前に現地到着したぼらひでさんから、移動途中の私にLINE連絡。「竿折れた。」どうやらセッティング最中に起こったようです。それから十数分後に再び連絡。「竿ごと持って行

かれちゃった。」朝からぼらひでさんに次々と襲いかかる不幸。私が現地に到着すると、3本あるはずのロッドが1本だけ。よく見ると、持って行かれたロッドのバットレストがポッキリ折れています。スプールフリーの状態だったにもかかわらずこんな事態になる鯉って、どんなモンスター？

こぶちゃん夫妻もすでにセッティングを終了していました。夫妻はこの後の上げ潮に乗って浅場に入ってくる鯉を狙った場所選びをしました。私は橋脚周りのゴロタを無謀にも攻めることにしました。ぼらひでさんから「ここは当たりがあっても中々採れない。」と警告を受

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

けましたが、当たりだけでもあればオフ会としては盛り上がるだろうと考えました。

ロッドが一本ではつまらないので、ぼらひでさんは一度帰宅して2本持参しました。3本揃ったのが9時半頃。潮が下げ止まりから上げ始める時間帯です。これで万全の体制。ゴールデンタイムは「上げ三分、下げ三分」と言われますが、潮が一旦止まってから動き出した時が一気に活性が上がることを意味しています。

その言葉通りぼらひでさんのロッドにバイト！時刻は10時半。ユウ君のアシストで慎重にランディング。記念オフ会にふさわしい荒川の巨鯉に、ぼらひでさんも今シーズン最高の笑顔でした。



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

同じ頃、私にも当たりが出だします。ところがぼらひでさんの警告通り、当たってもラインブレイク。戻ってきたラインを見るとボロボロに傷ついています。それでも懲りずに食って来ると思った浅場にキャストを繰り返します。昼近く、3度目の当たりでやっと1本目を上げることができましたがこれは小型の鯉。さらに6度目の当たりで2本目を上げました。まずまずのサイズ。この場所は3回に1回しか採れません。

さらに私の竿に当たりは続きます。ほぼ入れ食い状態に近く、2本の竿で忙しく動き回りますが、やはり数回に1回しか採ることができません。オモリが底をついた時、ありがたいことにぼらひでさんとこぶちゃんからオモリの援助をしていただきました。3本目は体高のある鯉、そして4本目がまずまずのサイズ。当たりの回数にはもはや覚えていません。取り込みの度にぼらひでさんとこぶちゃんにアシストしていただきました。



さて、こぶちゃん夫妻の方はというと、残念ながら鯉のルートが今日はそれてしまったようです。上げ潮になってからも根気強く餌を打

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

ち返しましたが、センサがなることなく時間が経過してしまいます。真夏日にもかかわらず、橋の下は風が通り抜けて気持ち良く過ごすことができます。ブルーシートに座って話ながらのんびり当たりを待つふたりは本当に仲むつまじい。

対岸の方を眺めると、フライングジェットボードを楽しんでいる人がいます。水上バイクの噴射を利用して、立ったままの姿勢で手・足から水を噴射して空中に浮上する新しい水上スポーツ。テレビで見ただけですが、実際に見るのはこれが初めて。都会の川は楽しみ方も多彩です。



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

潮が上げ止まる3時過ぎには当たりが止まりました。ここで恒例の集合写真撮影。オートシャッターが切れるまでの間、後ろに立ったこぶちゃんが笑わそうとしてやすこさんにちょっかいを出し、やすこさんが必死でこらえている写真です。ユウ君は、ひと足先に帰宅して写真に入ることができず残念です。

4時半にお開き。早くも秋の水郷オフ会の相談をしながら荒川を後にしました。

(レポート : mi○)

第 49 回オフ会 2015 年 1 月 24 日 隅田川

参加 5 名：ぼらひでさん、ユウくん、こぶちゃん、やすこさん、mi○

今年も隅田川で寒鯉シーズンが開幕しました。mi○はいつもは宇都宮から隅田川近くまで車で行くのですが、今回は諸事情により電車で行くことになりました。釣り場に近い駅前でぼらひでさんが車でお出迎え。なんだか申し訳ない気持ちが半分、手ぶらで鯉釣りに行く新たな楽しさ半分。手ぶらといっても仕掛けとリールだけはバッグに詰めて向かいました。

オフ会会場に着くと並継ぎのこぶちゃんと奥様が竿のセッティングを始めていました。餌のゴカイはぼらひでさんが全員分調達。この釣り場はこぶちゃんがよく知っているため、こぶちゃんのアドバイスと底探りの感触からぼらひでさんと私はそれぞれ気に入った場所にセッティングしました。私の竿と竿掛けはぼらひでさんから拝借。

潮汐からすると 10 時半頃から当たるはず。それまでのんびりと歓談・・・。と思っていたところが、こぶちゃんの竿に当り！10 時少し前の早めの反応です。竿を手にとり始めて間もなく、ふっとラインが緩んでしまいました。残念！

その後すかさず今度はぼらひでさんに当り！今度はしっかりとフッキングしたようです。他のラインに絡まないように丁寧に寄せ、こぶちゃんのアシストで無事ランディング。今年の初釣果としては納得の良型。鯉を持ち上げ、満面の笑みで写真撮影。顔はコブダイのようですが、傷ひとつない美しい魚体です。リリース後、手を洗ったぼらひ

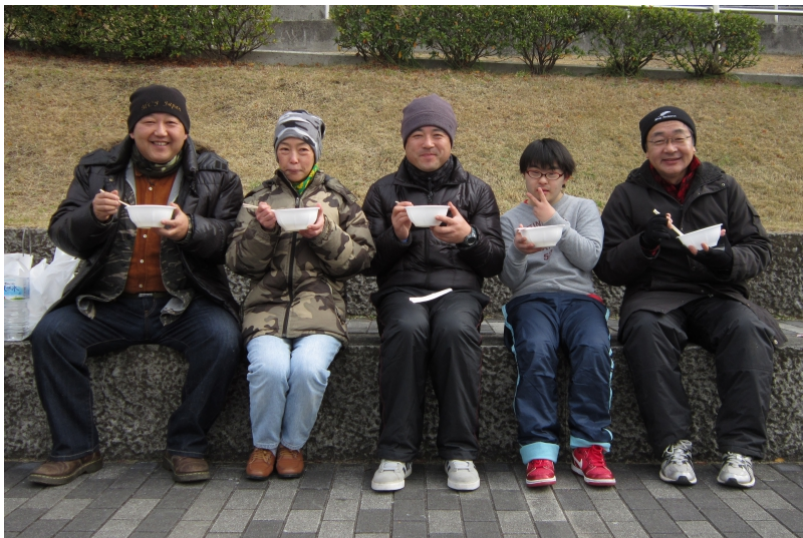
Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



でさんは「手が冷た〜い！！もう釣らなくていいや（笑）」なんと欲のないこと。

連続して当りがあったためその後も期待しましたが、残念ながら途切れてしまいました。し

ばらくして用事を終えたユウくんをばらひでさんが待ち合わせ場所までお出迎え。その間に、mi○に待望の当りがありました。ところが、穂先の動きがだいぶ小刻み。「やっちゃったかな？」そっとリールを巻き上げると久しぶりのご対面（笑）。竿を掛けてラインを手繰り、鉤を掴んでそのままアンフッキング。水面にポチャン！結局午前中はこれにて当り終了。



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

楽しみなお昼はこぶちゃん夫妻が温かいおでんを作ってくれました。冬空の下のおでんは特に体にしみ入る美味しさ。この幸せ感を写さない手はないと思い、今回はおでんのどんぶりを持って集合写真を撮りました。こぶちゃん、やすこさん、料理担当有難うございます。

午後になっても当りがないまま過ぎ、2時にぼらひでさんが早めの撤収。ユウくんと共にご帰宅。午後は太陽が心地よく照って、穂先から水面に垂れた何本ものラインがキラキラと輝いて見えます。こぶちゃんの話によると、ここは夕方近くになったらまた当たりやすいとのこと。うたた寝しながらのんびりと当りを待ちました。

3時半を回った頃、私の穂先に反応がありました。少し小刻みな動きではありますが、竿を手にした感触では今度は鯉のようです。水面に浮いたのは小型のかわいい鯉でした。こぶちゃんのタモ入れて丁寧ランディング。

ちょうど周りにいたお散歩中のご年配方が集まってきて、「こんな大きい鯉がここにいるんだ！1メートルくらいあるんじゃない？」など異常に盛り上がっています。小型ながら今年の初鯉なので写真を撮ろうと持ち上げると、またも周囲が「おー！大きい！！」ギャラリーに囲まれ、小鯉を持ってこんなに恥ずかしい撮影は始めてでした。

リリースしようとする、「あら、もったいないわねえ。」という声。93歳のご婦人でした。リリース後この方と少し話しているうち、鯉を釣って地元のご年配に楽しんでいただけるのも何か役にたつのであれば、それはそれで意味があるのかなあと考えました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



4時を過ぎた頃、やすこさんの竿に当り！こぶちゃん作の「隅田川スペシャル」がしなります。優しい竿さばきで鯉の口を水面に出させ、こぶちゃんがネットイン。中々の良型が上がりました。やすこさんはこぶちゃんのサポートのもと鯉を持ち上げて嬉しい記念撮影。2枚目を撮るころには重さで手が震え出しました。立派な鯉です。

4時半になり、オフ会お開き。こぶちゃん夫妻と mi○は素早く撤収。穏やかな天気、美味しいお昼、嬉しい釣果。心地よい疲れを感じながら帰路につきました。次回のオフ会は記念すべき第50回。春の荒川オフ会が予定されています。

(レポート：mi○)

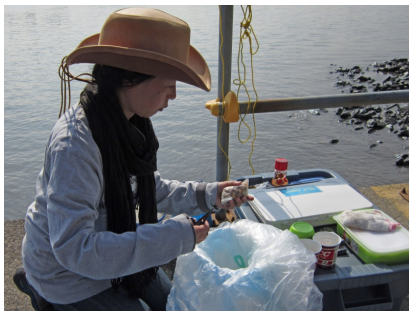
第 48 回オフ会 2014 年 10 月 25 日 荒川

参加：ぼらひでさん、ユウ君、こぶちゃん、やすこさん、mi○

朝は少し冷え込むようになりましたが、日中は天気が良く暖くなる予報です。潮回りは大潮で絶好のコンディション。ただ、今週はじめての雨で少し濁りがある感じがします。

いつものように mi○ が 8 時頃現地に到着し、ぼらひでさんとこぶちゃん夫妻に迎え入れてもらいました。まだ誰にも当りはないとのこと。すでにゴールデンタイムに入っているため、急いでセッティングをしました。

本日の餌は、ぼらひでさんはいつものように何種類かボイリーを準備した他、ペレットや小さめのポップアップなども持ってきました。あらゆる状況に対応できるように考えられているようです。こぶちゃん



は自作のサツマイモ餌とオリジナルオイルで攻めています。やすこさんはいろいろな餌をブレンドして PVA バッグに詰め込んで投入。ベイトリールを使って見事にキャストिंगをしています。

期待とは裏腹に朝の当りはないまま時間が過ぎていきます。太陽が高くなるにつれて次第に日差しが強く感じられるようになりました。しかし、朝はほとんどなかった風が少し吹くようになり、なんとも心

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

地の良い天気です。そんな中、11時半頃こぶちゃんに待望の当り！強烈なクリック音が響いてすかさず竿を手にしたこぶちゃん。なんだか様子が少し変。魚の走りがいつもと違うそうです。しばらくようすを見ていると、水面に現れた魚の目がいやに下についています。「あーあ。。。」気落ちした雰囲気の中いやいやタモ入れし、オフ会の拷問ともいえる記念写真！「手が臭くなっちゃった。」

30分後、またまたこぶちゃんに当り！「今度こそ」という周囲の期待も虚しく上がってきたのはまたもやハクレン。しかもさっきよりサイズがでかい（笑）。ぼらひでさんがタモ係りを引き受け取り込もうとした瞬間、すっぽ抜けて仕掛けがピューッと飛びました。「よかったー」と喜ぶこぶちゃん。「そうはさせないぞ〜！」と必死で逃げ



ようとするハクレンをタモで捉えるぼらひでさん。結局ぼらひでさんの執念が勝って、こぶちゃんは本日二度目の拷問の記念撮影になりました。「まったく、もう・・・（笑）」

ぼらひでさんによると、このポイントはハクレンが多く、ポップアップを使うと食ってきてしまう確率が高いので、ボトムで攻めるほうが良い結果になりやすいとのこと。確かに、ハクレンの入れ食いは私も初めて見たので、ほぼ間違いない見解だと思います。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

ハクレン騒動が落ち着き、午後になって mi○に当り！餌箱の奥に十年近く眠っていたと思われる市販の「手作り芋」を使いましたが、問題なく食ってきました。ぼらひでさんにカメラを渡してやりとりに入った直後、ふっと外れてラインが緩んでしまいました。魚の代わりになぜかビニールが絡んできて回収。残念！

3時頃、再び mi○に当り！竿に駆け寄る間、ずーっとラインが出続けています。ユウ君がタモを持ってスタンバイ。期待して竿を持ち、やりとりを始めた直後にまたもやラインがすっと軽くなりました。「何で??？」ラインを巻き上げると、今度は道糸がブレイクしています。ブレイク端から1m くらいのところが特に激しく擦った跡があり、原因は川底の石か水没したストラクチャーと思われます。この場所は、風が弱い時は竿を立ててラインに角度をつけたほうが擦れにくいかもしれません。今日のラインは6号。



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

中々鯉の姿をみる事ができないまま撤収の時間となりました。レンギョの連荘だけが釣果という、オフ会史上初の記録。今月はじめの水郷オフ会（第47回オフ会）で良型の青魚を上げたこぶちゃんに、「青魚、白蓮ときたから、中国四大家魚を狙うしかないよね（笑）」とからかう mi○とぼらひでさん。笑いに包まれながらの解散となりました。

（レポート：mi○）

第47回オフ会 2014年10月3日～5日 霞ヶ浦

参加：こぶちゃん、やすこさん、mi○、ぼらひでさん、左たまごさん

3日（金）午後、mi○とこぶちゃん夫妻が順次オフ会の会場に到着しました。この夜から、平石さんと中ソンさんも参加の予定だったのですが、やむを得ない事情で二人とも欠席の連絡が入りました。セッティングが終了した頃、今度はぼらひでさんから連絡です。3時過ぎ頃、陣中見舞いに来てくれるそうです。



こぶちゃん夫妻と話込んでいると、予定の時刻にぼらひでさんが到着。ご当地シリーズの「天理ラーメン」を差し入れしてくれました。暫く話していると、mi○の竿にヒット！センサーONの直後に少し

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

ラインがでましたが、すぐに反応が消えてしまいました。何か変？

「もしかしたら、アオ？」 1、2分ほどラインの動きを見ていましたが、時折ほんの少しだけラインが動く程度。しびれを切らして竿を持って煽ると、すんなり寄って来ます。「あら、まあ・・・」一度尻尾を見せてからやっと走り出しました。正体は小型の青魚。「オフ会はどうなサイズでも持ち上げて写真を撮るんだったよね（笑）」と言うばらひでさんのカメラの前で渋々持ち上げ「ハイ、ポーズ！」

日中の当りはこの一本だけで、夜に期待することに。日が沈むと徐々に水面に魚の気配が出て来ます。そのほとんどはボラですが、時折びっくりするくらい大きな音で跳ねがあります。鯉でしょうか、それともレンギョ？何にせよ、活性が高いのはいいことです。夜の最初の当りはこぶちゃんの竿でした。時間は10時。上がったのは鯉でしたが、まだ成長途上のサイズにつきすぐにリリース。次の当りを待ちます。

車の中で横になっているといつの間にか寝てしまい、やすこさんが窓をコンコンと叩く音で目が覚めました。外に出てみると、こぶちゃんが並継の石鯛竿を大きく曲げて格闘中。暗い水面に時折魚体が姿を見せます。結構いいサイズの青魚。魚体が横になって浮いたのを確認して、見事な連携でやすこさんがタモ入れ。時刻は午前0時。検寸の結果は138cm。満面の笑みを浮かべて記念撮影しました。この夜の当りは、これで打ち止め。



翌朝になって、左たまごさんが陣中見舞いに来てくれました。水郷オフ会は2006年春以来の参加となります。お子さんが大きくなり、週末ごとのイベントから解放されたのを機に、また少しずつ鯉釣りを再開しようかと考えているところだそうです。

お昼はこぶちゃんが、特製の鍋を作ってくれました。川俣シャモ肉をこの日のために取り寄せてくれました。奥様のやすこさんによると、こぶちゃんは普段から料理を良くするそうです。人参を型抜きしたり椎茸に飾り切りをいれたり、見た目も味も見事な鍋に仕上がりました。あれこれ話しながら腹一杯になるまで御馳走になり、仕上げのうどんまで頂きました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



たっぷり時間を掛けた鍋パーティが終了した頃、私の竿に当り。成長途上の鯉を取り込んで、即リリースしました。水郷全般に言えることですが、ここ数年は青魚の大型化と鯉の小型化が目につく気がします。

3時頃に左たまごさんが帰宅しました。日没後になると、昨日と同

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

じように水面が賑やかになります。この夜は、私の竿の周辺に群れが寄って来たようで、夜7時半から11時頃まで、20～30分置きに当りが来ました。一本釣って車に戻ると次の当りがあるという繰り返し。ただし、サイズは残念ながら成長途上ばかり。11時を過ぎてからは、0時、2時、4時にも同じような当り。結局この夜は小アオ一本、鯉多数（途中から数えるのを止めました；笑）。

4時の当りの後は目が冴えてしまいそのまま起きていると、5時頃から雨が降り出しました。台風が接近しているため、今日はどんどん荒れて来る予報です。夜明けとともに撒収。「次はもっと大きいのを釣る！」と意気込んでいるこぶちゃん。水郷のキャパからすると、それも無理ではないことかもしれません。

以上でレポートを終わります。

(レポート：mi○)

第 46 回オフ会 2014 年 5 月 24 日 荒川

参加：ぼらひでさん、こぶちゃん、やすこさん、リロさん、mi○

恒例の MCF 春の荒川オフ会は、ぼらひでさん、こぶちゃんファミリー、mi○が参加し開催されました。ぼらひでさんとこぶちゃんが事前調査をした結果、今回はメンバーがまだ誰も竿を出したことがないスポットを会場に選びました。

宇都宮から参加の mi○は他の参加者から遅れること 1 時間半。9



時頃セッティングを終了しました。こぶちゃんは大き目のタープを張り、オフ会本部を設置してくれました。朝から快晴のため、日陰がないこの川原ではこれがあると実に快適です。

ぼらひでさんは引き潮の跡にタックルをセット。よく見ると今回も見慣れないロッドがセッティングされています。ABU のカープロッド 2 本。実は前日にぼらひでさんは別の場所でこのロッドのテストを行っており、90cm を釣り上げたそうです。ロッドの調子は、一般的な胴からいきなり曲がるイメージのカープロッドに比べて、穂先が若干深く曲がるフィーリングがあるとのこと。加えてブランクス肉厚感があまり感じられないそうです。数々のタックルを使いこなしてきたぼらひでさんの繊細なフィーリングは、他の人には中々理解しきれない部分がありそうです。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

早朝にあちらこちらで鯉のもじりがあったため期待が持てる状況ですが、誰の受信機も鳴らないまま午前中を過ごしました。お昼の買い出しやトイレなどは、川の土手を超えて少し歩くとコンビニがあるためとても便利です。お手軽にファミリーで釣りができるのは都会の川ならでは。

地元のおじさんが話しかけてきました。この場所では最近誰も釣りをしていないそうです。はっきりとは言いませんが、明らかに「ここは釣れない」ということをにじませています。ご親切にありがとう

(笑)。でももう竿を出している釣り人にとっては、あまり有り難くない情報ですね。私たちが釣り人に話しかける時は気をつけたいものです。

参加者5人が各2本ずつ、計10本の竿が出ていますが相変わらず反応なし。メンバーが年に数回顔をあわせるのがオフ会の目的ではありますが、会話の合間に当りがあって、サイズに関わらず盛り上がるのがいつものパターン。しかし今回はミーティングに徹したオフ会になりそうな気配です。今回が46回目のオフ会。こんなこともたまにはあります。それでも、新たな釣り場に挑戦しようとしてオフ会を企画して下さったばらひでさんとこぶちゃんに感謝したいと思います。所詮釣果は時の運。

昼過ぎに集合写真を撮影。前列のファミリー（こぶちゃん・やすこさん・リロさん）は、時々3人で隅田川に行っているそうです。鯉釣

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

りはお父さんの趣味というイメージがこれまで強かった気がします
が、こぶちゃんのように家族で鯉釣りするのも実に楽しそうです。

午後2時、ぼらひでさんが一足先に帰宅。潮の状態からすると4時
前後に期待がかかりましたが、本日は徹底的に食いが悪く、撤収まで
全く当りを貰うことができませんでした。夕方にスピーカーから響く
区の放送を聞きながらオフ会を終了しました。



(レポート : mi○)

第 45 回オフ会 2014 年 1 月 18 日 隅田川

参加：ぼらひでさん、ユウ君、こぶちゃん、やすこさん、リロさん、
mi○

潮回りから 18 日（土）がオフ会の開催日と決定しました。天候に恵まれ、快晴のもとでこぶちゃんファミリー（並継のこぶちゃん・やすこさん・リロさん）、ぼらひでさん親子、mi○が過ごした 1 日をレポートします。

mi○が隅田川のそばの駐車場に車を入れ、コンビニで買い物をして歩いていると、こぶちゃんファミリーが釣り場に向かってやって来ました。こぶちゃんの奥様やすこさんは、昨秋の荒川オフ会以来二度目の参加になります。また、息子さんのリロさんはオフ会初参加です。ファミリーは昨年の秋以来時々釣りをしていたとのことですが、ゴカイ餌で寒鯉釣りは初体験。なんとかみんなに当りがあって欲しいものです。

mi○もセッティングをしていると、ぼらひでさんが自転車に乗って到着。挨拶をして荷物を降ろし始めて間もなく、
「なんだか荷物が少ないと思ったら、竿掛け忘れちゃった（笑）」とぼらひでさん。すぐに自転車で自宅に戻り、竿掛けを持って帰ってきました。自宅からの距離はあまり遠くないのですが道路のアップダウンが大きいため、
「今日一日の体力を使っちゃったよ！」
ご苦労様でした。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



参加者それぞれの竿がテラスに並び終えた頃には9時近くになっていました。建物の陰になっていた釣り場に、朝日が次第に照らされるようになってきました。mi○が宇都宮を出発した時の気温が-4℃。それからすると都会の朝は寒さが大分ゆるく感じられます。

今日は中潮で、干潮は12時過ぎ。

「10時半頃からきっと忙しくなるね」

そんな会話をしながら、誰のリールのクリックが初めに鳴るか待っていました。そういえば去年の隅田川オフ会は史上最高の爆釣に湧きました。そんな話をしながら、期待は時間とともにどんどん増してきます。mi○は鯉用のシートを敷いて準備万端。ところが・・・

10時半になっても11時を過ぎても一向にクリックは鳴りません。「シートなんか敷いて欲をかくとろくなことないよ(笑)」とぼらひでさん。確かにそういうことは釣り場でよくあることです。タックルを新調すると釣れないとか、釣れたときの準備をし過ぎると釣れないとか。何はともあれ冬のオフ会恒例の鍋物を準備することになり、ぼらひでさんが具材を買い出ししてくれました。グツグツ煮込

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

んで湯気が立ち上がり、お昼には少し早い時間ですが皆で「いっただ



きま〜す！」温かいおでんが自然にみんなを笑顔にしてくれます。いつもこぶちゃんが炭の準備、ぼらひでさんが鍋物を仕込み。本当にご苦労様です。

おでんを完食した後は、恒例の記念撮影です。前列がこぶちゃんファミリー。冬のオフ会にもかかわらず、ホットな感じのショットとなりました。それにしても、誰の竿にも当たりがありません。隅田川の鯉はどうしちゃったんでしょう？ 昨年の爆釣とは正反対の状況。



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

暫くしてぼらひでさんの息子さんのユウ君が外出先から帰宅する途中、釣り場に顔を出してくれました。ぼらひでさんは用事があって昼過ぎには上がりになるとのことで、ユウ君も一緒に帰宅となりました。

さて引き続き残ったメンバーで午後の時合いを待ちます。釣り好きの地元のおじさん達が数名やってきて、私たちのタックルに興味を持って話しかけて来ました。この方達は釣りはさておき、隅田川に集まって釣り談義をしているのが楽しみのようです。都会の釣り場にはいろんな方が集まるものです。

撤収の時間を気にし出した頃、ついにこぶちゃんのリールからクリック音が鳴り響きました。みんな一斉に竿に駆け寄ります。当たった竿はこぶちゃん自作の和竿隅田川スペシャ4です。mi○がタモ入れを



アシストし、その中に丸々とした鯉が誘い込まれました。ランディング成功！ギャラリーも取り囲んで見守る中、重量感満点の隅田川鯉を持ち上げて嬉しい記念撮影。ファミリーも笑顔に包まれています。

最後の最後に盛り上がりを見せたオフ会はこれにて終了。厳しいコンディションながらなんとか良型を上げ、こぶちゃんの面目躍如。春の再会を誓って解散となりました。

(レポート：mi○)

第 44 回オフ会 2013 年 11 月 16 日 荒川

参加：ぼらひでさん、ユウ君、こぶちゃん、やすこさん、mi○

今秋の荒川オフ会は台風の影響で一度延期されたため、例年よりも遅い開催となりました。寒さが予想されましたが、心配とは裏腹に晴天で温かい天気となりました。



朝 7 時頃、ぼらひでさん親子に続いてこぶちゃんが現地に到着しました。mi○は出発が遅れたのに加え、首都高の渋滞に巻き込まれて 8 時半過ぎの到着となりました。お互い間隔を広め

に取り竿をセット。ぼらひでさんが買ってくれたサツマイモボイリーを分けて頂いて投入しました。

セッティングが終了すると、さっそく釣り談義。というよりは、常陸利根川で MCF メンバーの中ソンさんが遭遇した恐怖体験話を皮切りに、今まで自分が経験した恐怖体験自慢大会になりました。中でもぼらひでさんが江戸川で体験した怖〜い話が突出していますが、ポカポカ陽気の中では背筋がゾットすることもなく、ただ楽しい話になりました。

時間とともに気温がどんどん上昇し、寒さを予想して着込んで来た上着を一枚脱いでもまだ暑いくらい。この時期にこんな空の元で釣り

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

ができることはとてもラッキーですが、残念ながら誰の竿にも当たりがありません。あっという間にお昼になりました。

ぼらひでさん親子は、近くのコンビニでお昼を買って楽しいランチタイム。それから間もなく、こぶちゃんの奥様、やすこさんが会場に到着しました。やすこさんはハゼ釣りをしたかったようですが、残念ながら最近の川のコンディションからハゼの釣果は望めないとのことで断念したようです。護岸に夫婦仲良く腰をかけて話をしているようすは、遠くから見てもとても微笑ましく感じます。



mi○もお昼を簡単に済ませ、川原に腰をかけてウトウトして当りを待ちました。上げ潮に変わるタイミングで当りが出ることを期待しましたが、全く鯉の気配がありません。時折ドボンという音を立てて水面が揺れるのは、背後の野球場から飛んで来たボールが川に落ちた時です。なんだか次第にやばい雰囲気になって来ました。

3時頃、最後の餌交換。それから20分ほどすると、ぼらひでさんのバイトアラームが鳴り響きました。mi○はカメラを片手に駆けつけ、こぶちゃんはネットを手に取りユウ君に渡しました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

「あまり大きくないみたい。」

とぼらひでさん。ところが浮いて来た鯉の頭を見ると、結構良いサイズの様です。ユウ君が構えるネットに鯉を誘い込んで一発でランディング成功！



フックを外した後、今オフ会最初の釣果撮影は納得のサイズ。水温が低めで引きがいつもより弱まっていたため、まさかこれほどの大きさとは思わなかったようです。ここで、とぼらひ

でさんがポロリと明かした一言。

「みんなにサツマイモボイリーを勧めておいて何だけど、これSCOPEXで釣っちゃった（笑）」

まあ何であれ、参加者全員で良型を喜びました。

鯉をリリースした後、まもなくオフ会お開き。撤収中に陽がどんどん西に傾き、綺麗な夕陽になりました。次回は新春隅田川オフ会になります。やすこさんも竿を持参して参加するかもしれないとのことで、さらに楽しみです。

以上でレポートを終了します。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



(レポート : mi○)

第 43 回オフ会 2013 年 10 月 3 日～6 日 北浦

参加：地鶏オヤジさん、煮込みマッコさん、中ソンさん、mi○

10月3日から6日にかけて北浦にてMCF水郷オフ会を開催しました。参加者4人が揃って竿を出したのが5日まで、そして煮込みマッコさんと中ソンさんは北浦内で場所を移動して後半戦に挑みました。

3日午後、地鶏オヤジさんとmi○が会場に到着しました。水門を挟んで左にmi○、右に地鶏オヤジさんが竿を出します。天候は曇



り。風がやや強く吹き付け、コマセのタニシを撒くのに少し苦労します。地鶏オヤジさんは今シーズン水郷初釣行。いつもより慎重にセンサーをチェックしてセッティングしました。

mi○はこの場所に初めて入ったため、どこで当りを貰えるか検討が付きません。足元から遠くまでずっとゴツゴツの良好な水底でどの距離でもよさそうですが、直感的に25mと40mの二手に餌を打ち分けました。餌はいつものようにPVAバッグに詰めたタニシで、風の影響は比較的少なく投入することができます。

竿を出し終えて、車の陰で風を避けるようにしながら二人で近況を話し合いました。時々メールを交わしてはいたものの、振り返ると2年前に北浦で一緒に以来となります。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

時が経つのを忘れて話し込んでいるうち、夕方5時のチャイムの放送。そろそろ早い夕飯の支度を始めます。メニューは地鶏オヤジさん定番の鯉の刺身とマカロニサラダ。ハイエースの中にお邪魔して、一緒に頂きました。

車に戻って夜8時半、やっと最初の当りが mi○の竿にありました。護岸に打ち付ける波に揉まれながらネットに入れ、地鶏オヤジさんに写真を撮って頂きました。一匹目としてはまずまずの型です。続いて9時頃、同じ竿に2回目の当り。しかしこれは竿を持って間もなくばらしてしまいました。



それから30分ほどして、煮込みマッチョさんが到着。今シーズンは釣りから遠のいていましたが、秋から復帰して二度目の竿出しになるそうです。迷わず杭が並ぶ場所に竿をセットしました。

いつの間にか眠りにつき、mi○はセンサーの音で飛び起きました。時間は0時半。またまた同じ竿に当りです。これは無事に取り込むことができましたが、型は一匹目よりもダウンしてしまいました。この当り竿は40mに投入しています。底探りではその近辺に特に

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

変化は感じられませんでした。この竿だけに当りが続くということは、水底になんらかの障害物などがあり鯉が回遊してくると考えられます。

さらに3時頃 mi○に当り。今度は25mに投入した竿です。さっきよりも波が大きくなって苦戦しましたが、なんとか取込み成功。サイズアップはなりませんでしたが、コンスタントに当りがある夜です。

4時半、煮込みマッチョさんに当りがありました。ダイコーの石鯛竿に16号ラインのヘビータックルを使っているマッチョさんは、いとも簡単に鯉を上げてすぐに水辺でリリースしました。

朝になっても依然として風が強く吹き続けます。3人とも餌を交換しましたが、朝のゴールデンタイムを迎えても当りがないまま過ぎてしまいました。そんな時に皆を癒してくれるのが、煮込みマッチョさんの愛犬ハナです。第29回、第32回オフ会に参加したことがあるハナですが、人懐っこくていつでも愛嬌を振りまいてくれます。最近



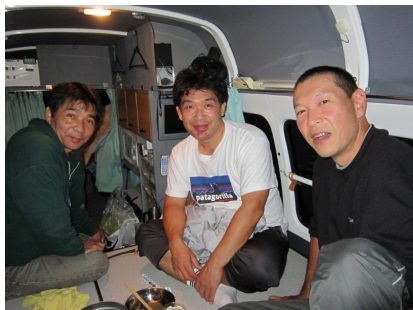
は室内犬になっているようで、美容室でトリミングしてもらい、洋服を来てオシャレしています。ハナと戯れるときのマッチョさんはいつもにこやかになります。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

日中はまったく当りがなく時間が過ぎ、あっという間に夕方になりました。風向きは一日中変わらず、波が護岸に打ち上げられています。長い時間外に立っていると、いつの間にか体温が下がってくる天候です。

今夜は中ソンさんがやってきます。夕方メールしてみると、まだ仕事中とのこと。仕方がないので「こっちは宴会はじめてます」とメール。風が強くて外での宴会は無理なので、地鶏オヤジさんのハイエースでお座敷風宴会を始めました。メインのメニューは中国で買ってきた「火鍋底料」を使った鍋。ビールを飲んで鍋を突つき、そして楽しく会話をしてはまた飲んで鍋を突ついて・・・。

5時半に宴会を始め、気がつくと8時を回っていました。外がパット明るくなったと思うと、こちらに車のヘッドライトが近づいて来ました。中ソンさん到着です。車から出て中ソンさんをお出迎えした



後、さっそくセッティング開始。中ソンさんはいつも通り入念に底探りをし、竿の位置を決めました。やっと中ソンさんも宴会に参加できた時には9時過ぎ。それからまだまだ宴会は続きました。

その夜、地鶏オヤジさんに待望の当りがありました。3時半頃だったため、ひとりで取り込んでリリースしました。地鶏オヤジさんとし

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

ては満足できないサイズだったとのことですが、今シーズンの初鯉が出て大変良かったと思います。

mi○は夜中から翌日の朝にかけて2回当たりがありました。2回とも40mに投入した竿に当たりです。サイズアップを期待していましたが、いずれもレギュラーサイズ。

昼過ぎに地鶏おやじさんとmi○が順次撤収。撤収の間、煮込みマッチョさんが立派なボラを持って歩いて来ました。誰かが、「あ、ぼらひでさんもオフ会に来たの？（笑）」このボラは波とともに護岸に打ち上げられて来たそうです。その頃、中ソンさんに当たりがありました。可愛い鯉だったためこの場所を諦め、煮込みマッチョさんと二人で場所を移動しすることにしました。



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

相変わらず風が強いため、北浦の中で比較的風の影響を受けにくい場所を選びました。中ソンさんは一晩で3本の釣果で、翌日の夜明けに撤収との報告を後日頂きました。

そのまま釣り場に残った煮込みマッコさんのセンサーが入りました。まだ空が明るくなりきっていない中竿に駆け寄ると、スイッチからラインが外れていません。スイッチを戻して車に戻り、10分くらいするとまた同じ竿のスイッチON。ラインの動きがあまりないので穂先を見ているとクイッと入りました。竿を持つと、のっそりとした



動き。これまで幾度となく味わった青魚の感触です。利根川と違って流れがない分取り込み易いとはいえ、慎重にやり取りしてネットに納めました。

今回のオフ会はそれぞれの都合によって現地到着も帰宅もバラバラになりましたが、一晩はメンバーが揃って大変楽しく過ごすことができました。釣果は煮込みマッコさんが最後に青魚で締め括ってくれました。

以上でオフ会のレポートを終わります。

(レポート : mi○)

第 42 回オフ会 2013 年 5 月 18 日 荒川

参加：ぼらひでさん、ユウ君、こぶちゃん、さきちゃん、mi○

恒例の MCF 春のオフ会を荒川で開催しました。参加者はぼらひでさん親子、こぶちゃん親子、そして mi○の 5 名。川辺の一日の様子をレポートします。

参加者が荒川に集まったのは朝 7 時過ぎ。先陣を切ったのは、春先から荒川で好調を維持しているぼらひでさん。今回は、コンパクトで超軽量のロッドポッドを 2 台セットし、合計 4 本のロッドをセットし



ました。フックベイトはガルブカープのサツマイモボイリーとダイワ・スコペックスの二種類。今日は小潮で活性が上がらないことが懸念されるため、すべてのロッドに寄せ餌のダンゴを使用しました。

こぶちゃん親子は、今年初めての荒川釣行です。この春からこぶちゃんは多忙を極め、中々竿を出すチャンスがありませんでしたが、今日はスケジュールを調整して参加してくれました。さきちゃんは最近すっかり大人っぽくなりましたが、お父さんと一緒にの釣りは今まで通り好きなようです。ぼらひでさんの話では、潮回りは一週間前が良かったとのことですが、結果的に一週間前は強い雨が降ったので、今週の開催が正解だったようです。今日は晴れ時々曇りの予報です。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

潮の動きからすると、お昼頃が当たる確率が高いので、午前中はのんびり話をしたり、新しいタックルや自作の餌などを見せてもらいました。こぶちゃんは、事前にぼらひでさん情報を聞いて自作のサツマイ



モボイリーを持参しました。サツマイモを蒸かした後で裏ごしをして、甘味と小麦粉を混ぜて茹でた手の込んだボイリーです。市販のものに飛びつかないで、まずは自分で作ってみる姿勢に頭が下がります。

ちょうどお昼になった時、ぼらひでさんに当たりがありました。そばのベンチで昼寝をしていた私は、こぶちゃんに起こされて駆けつけました。当たったのはスコペックス。慎重に取り込んで、今オフ会最初の釣果写真を一枚。「このサイズでも撮らなきゃだめ？（笑）」と渋るぼらひでさんに、こぶちゃんと私は駄目出し。今や長い歴史がある



MCF オフ会ですが、最初に「オフ会はどんなに小さい鯉でも写真を撮ろう！」と言い出したのがぼらひでさんだったことは、カメラマンの私がしっかり覚えています（笑）。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

予想通りの時間の当りに、メンバーの期待感が高まってきました。リリースして餌を打ち変えた後、お昼のお弁当を買いに行ったぼらひでさんが、ユウ君とともに戻ってきました。ユウ君は午前中用事があったので、午後からの参加です。

こぶちゃんとさきちゃんは、一緒に PVA バッグに餌を詰め込んだりして、ぴったり息が合っています。寄せ餌の配合を変えて、一発大物を狙います。長年ふたりで釣りをしているため、暗黙のうちに何をするかわかっているのかもしれませんが。

mi○はロッド2本でタニシ、スコペックス、サツマイモの三種類のボイリーを順番に使い、なんとか鯉の食い気を誘おうとトライしています。

そんな中、次の当りはまたまたぼらひでさん。今度もスコペックスに当たったようです。ユウ君が取り込んで、こちらも息がぴったり合っています。「さっきよりは少しサイズが上がったかな？」とぼらひでさん。2匹目の写真を撮りました。



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

朝からずっと天気は晴れていましたが、時折太陽が雲に隠れると少し風が寒く感じられる一日でした。ぼらひでさんの2匹目の後は全く当りがなくなります。いつものように皆で集合写真を撮り、釣り談義などを行っているうちにタイムアップ。首の辺りが日焼けでヒリヒリするのを感じながら、タックルを撤収。第42回オフ会を終了しました。



(レポート : mi○)

第 41 回オフ会 2013 年 1 月 26 日 隅田川

参加：ぼらひでさん、こぶちゃん、さきちゃん、mi○

朝 8 時前、隅田川に着くとこぶちゃん親子とぼらひでさんが先に到着していました。こぶちゃんはいつものように近くのコインパーキングまで車を使い、そこから台車に荷物を積んでここまで運んだそうです。ぼらひでさんは、タックルを持って路線バスで来ました。都会の釣り場は、アクセス方法を選べる特長があります。

セッティングが修了してから 30 分も経たないうち mi○の穂先が入りました。今年最初の釣果のため、ぼらひでさんに写真を撮ってもらいました。撮影している向こうでは、さきちゃんにも当たりがあって、お父さんのこぶちゃんがタモで掬いました。数分後、先ほどと同じ私の竿にまたまた当たり。まさに入れ食い状態です。二匹目も撮影・リリースしてから餌を投入すると、数分後に同じ竿に 3 匹目の当たり。この竿の投入地点にちょうど今鯉の群れが留まっていることがわかります。



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

さきちゃんの今年初鯉と私の3連続ヒットで朝一番のラッシュは一段落しました。今日は大潮で、午前中は下げ潮。午後から上げ始めます。これまでの状態からみると、今日はいつも以上に期待が持てる気がします。しばらく当りが止まっている間は4人で歓談。

10時半、ぼらひでさんに待望の初ヒット！こぶちゃんがタモを構え、私がカメラを構えて準備万端の中上がって来たのはニゴイ！ぼらひでさん、さすがに盛り上げ方を知っています。爆笑が納まった頃、さきちゃんのリールのクリック音が響きます。今度は重量感があって暫く浮いてきません。ゆっくりと顔を見せた鯉をこぶちゃんがランディング。この時点で本日最重量級の鯉を手記に記念撮影しました。この直後、私に4匹目の当りがあって無事にゲットしました。今日は誰かに当りがあると、連続して当り出す傾向があります。

お昼は、ぼらひでさんが近くで食材を調達し、こぶちゃんが火を準備してくれました。今日はおでんの具に餃子が入った水餃子鍋。鍋から湯気が立ち上がり、グツグツ煮込んで味がしみ込んだところで、さきちゃんが皆に取り分けてくれました。私はただ美味しい所を頂くだけのずるい役です。寒空の下の温かい鍋物は、冬のオフ会の最高の楽しみです。お昼を食べている間にもぼらひでさんとこぶちゃんに当りがありましたが、残念ながらばらし。今日は全般的に釣掛かりが浅いようです。水温の低下が影響しているのでしょうか。とにかく今日はいつも以上に強引なやり取りは注意しなければいけないようです。お昼の締めは苺大福。これもぼらひでさんの気配りです。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



お腹が膨らんで気温も上がって来た頃、私に5匹目がヒットしたのを皮切りに、午後の当りラッシュが始まりました。その直後、朝からずっと忍耐の釣りになっていたこぶちゃんに待望の当り。これは午前中にさきちゃんが上げた鯉よりもさらに一回り大きな鯉で面目躍如です。撮影中に鯉を持つ手がだんだん耐えられなくなって下がってくるのがわかります。立て続けにぼらひでさんとさきちゃんも当り、使ったばかりをタモを持ってすぐに次の当り竿に走るという大変な騒ぎになりました。途中何回かばらしもあって、もう誰が何匹釣ったかもわからなくなる状態になりましたが、できるだけカメラに納めておきました。

そして、午後の当りラッシュのハイライトはぼらひでさん。午前は笑いを取って、午後はしっかりと結果を出しました。本日最大の鯉。さすがにやる時はやります。鯉を持つ腕が辛そうですが、最高の笑顔で記念撮影。今回もニュータックルで挑んだぼらひでさん。ダイワのリーガルライトカープ86MLに4号の道糸を使い、重量級に十分対応できることを証明しました。

Monster Carp Fishing in Japan – Meeting



Monster Carp Fishing in Japan – Meeting

午後3時半を回った頃撤収開始。最終的に今日の釣果を整理したところ、ぼらひでさん4匹とニゴイ1匹（笑）、こぶちゃん1匹、さきちゃん3匹、そしてmi○が5匹。合計13匹と1匹になりました。4人ともばらしましたが、ばらした本数は覚えていない程沢山ありました。

今日の開催を事前にお伝えしておいたカッキーさん（三遊亭歌橋師匠）から、早朝にメールを頂いたり、海外に出張中の地鶏オヤジさんから陣中見舞いの電話を頂いたりして、現地に集合できなかった方の温かい思いも寄せられました。オフ会史上最高クラスの釣果に恵まれ大満足の中、第41回のオフ会を終了しました。



（レポート：mi○）

